



活動報告：2024年度

特定非営利活動法人 全国女性シェルターネット
All Japan Women's Shelter Network

2024

全国女性シェルターネットの活動

設立1998年。民間のDV被害者支援団体が加盟する、全国ネットワーク組織です
2025年現在、サポートシェルター等を運営する65団体が加盟し、活動内容は多岐にわたります

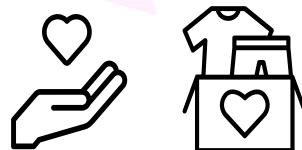


01

DV被害当事者への生活支援

シェルターネットへいただいたご支援の流れ

2024年度も寄付金・寄付物品
(衣服、化粧品、日用品など)
をたくさん頂きました



企業・個人からのご寄付



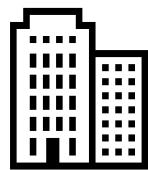
寄付金の使途や
物品配布先の取りまとめ

寄付物品は各団体へ直接
配送いただいている



Thank you!

支援団体・シェルター
DV被害当事者

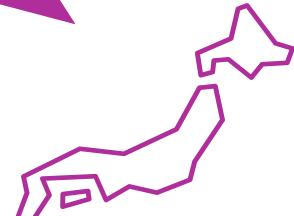


シェルターネットで寄付金・
寄付物品の活用先を取り
まとめます



寄付金は育成・貸付・
給付金など様々に活用

全国の加盟団体を通じて
支援を届けています



01

DV被害当事者への生活支援



寄付金・基金からの支援:使途の例

使途:新生活資金のための無利子、小規模な貸付

- 返済期限は無期限で、主に住宅資金や、家具家電の購入などに充てられている。以下の2種類を運用中。

DV被害当事者サポートPMJ基金

- 2007年度～延べ652人に1億6443万円を貸付けた
- 2024年度実績
貸付:8名に計237万円
返済:29名より計244万円

マイクロン・エンパワメント基金

- 2022年度創設、2024年度までに延べ10名が利用
- 2024年度実績
貸付:1名に48万円
返済:4名より計73万円

使途:DV被害当事者/子どもの就学資金給付

資生堂カメリアファンド SHISEIDO

- ともに避難した子どものための、公的補助のない学用品購入や受験・入学・通学費用などが対象
- 2024年度実績:17名に計137万円給付
- 大学・通学費用など、実情に応じて給付対象を拡大予定

- 日本・海外の財団・寄付サイトなどの認証を受けています



パブリックリソース財団
寄付適格認証

例) パブリックリソース財団
「寄付適格認証団体」

01

DV被害当事者への生活支援



その他支援者・企業からの寄付・基金

- 一部をシェルター設備更新や備品購入の補助金へ
- 個人で継続してご支援くださる方もいらっしゃいます



シェルターのトイレドア修繕

施設管理者の声

「高齢の利用者さんが転倒するも、運営だけで精一杯で、補修工事に予算を回すことができず、ご支援、本当にありがとうございます。」

シェルターの家電・寝具購入

利用者さんの声

「やっと安心して眠れます。みんなに守られていると思うとありがとうございます。」



寄付物品の支援

- 匿名含む国内外企業より、継続的に支援をいただいています
- 加盟団体を通じてシェルターや支援の現場で直接配布
- 2024年度は婦人用衣服、化粧品、食品、下着、日用品など全国の加盟団体を通じて配布できました。



婦人用衣服等

当事者さんの声

「素敵なお洋服、ありがとうございます。」「仕事に着ていく服が増えて助かります。」

化粧品セット

当事者さんの声

「子どもがいて自分のことはいつも後回し、化粧品は安価なものを選んでいます。」「すてきな化粧品、嬉しいです」



支援者・加盟団体への支援・情報共有

● 第5回世界女性シェルター会議：5 WCWS参加支援

2025年9月15日（月）～18日（木）オーストラリア・シドニーにて開催。1年以上前から、加盟団体内外への参加案内やサイト和訳、参加申し込みのとりまとめを行っています。

● ウェブサイトやメールニュースでの情報共有

政府の通知・政策や、寄付物品の詳細など、加盟団体での実際の支援現場に必要情報共有と支援希望内容の集約を行っています。

第5回世界女性シェルター会議
5th World Conference of Women's Shelters
 参加ガイド 第1弾

1. 世界女性シェルター会議について
 女性シェルターや、センターに基づく暴力根絶のために活動する人々による世界最大の会議が、初めて南半球で開催されます。

主催：Wesnet (the Women's Services Network)
 GNWS(Global Network of Women's Shelters)

第5回世界女性シェルター会議は、世界レベルの本会議と様々な分科会、懇親会、見学ツアーなどで構成されています。詳細なプログラムはまだ発表されていませんが、シドニーまで出向いて話を聞く価値があるレベルの方の講演が予定されています。

世界中で、DVや女性に対する暴力の防止と、被害当事者への支援が熱心に取り組まれています。参加して、ぜひその熱いエネルギーにふれ、色々な情報を持って帰りましょう。

また、周囲の方（この問題に关心のある政府・自治体関係者、社会貢献団体関係者、研究者、弁護士など専門家）にも参加を呼びかけましょう。もし、正式な招へい状が必要な場合は、お知らせください。

この会議は、過去4回世界各地で開催されています。世界各国の政府、非政府組織、企業、学術機関より、第一線の活動家やNGOのリーダーが参加しています。今回も、1000人以上の参加が見込まれます

詳しいは、大会ウェブサイト（英語：ブラウザの機能で日本語に翻訳できます）をご覗ください
<https://fifthworldshelterconference.org/>

年	会場	参加者数	国数
1st	Edmonton Canada 2006	800 delegates	51 countries
2nd	Washington USA 2012	1,500 delegates	97 countries
3rd	The Hague Netherlands 2015	1,000 delegates	115 countries
4th	Kaohsiung Taiwan 2019	1,212 delegates	81 countries

シェルターネットで日本語の参加ガイドを作成

03

次世代の支援者育成

Empowerment School



相談支援を担う専門家を育てる講座「エンパワメント・スクール」を一般社団法人ジェンダーべイスト・バイオレンス専門支援員養成センターと実施しています。

2022年度の開設以来、2024年度までに延べ160名が受講し、47名が修了（視聴期間3年内）。

2024年度は専門支援員2名、支援員6名の資格認証をしました！

<https://www.gbv-epschool.or.jp/>



- **オンライン動画学習**：学ぶ場所と時間を選べます。世界のどの地域・自宅や職場からでもアクセス可！
- **参加型学習**：相談に必要なスキルを学ぶ参加型実習もあります。対面方式とオンライン方式で実施
- **視聴期間は3年間**：申込から3年間、自分のペースで学べます。受講可能な期間は6ヶ月余り
- **コースは6種類**：基礎科目46科目、専門科目32科目。「GBV」、「性暴力」、「DV」それぞれ、基礎編・専門編のコースを選択可
- **入門編パッケージコースあり**：「DVや性暴力問題の基礎知識を学ぶ」ための、短期間コースもあります！

04

全国シェルターシンポジウム

設立以降、ほぼ毎年「全国シェルターシンポジウム」を開催。当事者・シェルタースタッフをはじめ、行政、医療、司法、ジェンダー研究、支援企業等、支援第一線の関係者が参加し、女性に対する暴力根絶施策の課題について論議を重ねてきました

● 「第26回全国シェルターシンポジウム2024 in KOBE」

女性支援の新時代へ 住まいは人権～ハウジングファーストから始まる女性の回復支援～



2024年11月23～24日 神戸市にて開催！中長期の住宅支援について取り上げました。延べ400名近くが参加し充実した大会になりました。報告集も販売中です！

[Facebook](#)にて大会の様子を報告しています。



- 2025年度はシドニーでの世界会議参加のため、加盟団体を対象に「シェルターネット全国加盟団体会議2025」を開催します。

05

政策への要望・提言活動

前年度に引き続き、民法改正（共同親権）、改正DV法施行、女性支援法施行などの情報収集や発信を積極的に行いました。

- **家族法改正**：選択的共同親権導入に対し、DV被害者や支援現場からの声を社会に発信しました。院内集会・記者会見、ウェビナーや国会前集会のほか、施行にあたっての要望書を国に提出しました。

特に、2024年5月7日参議院法務委員会で山崎菊乃共同代表が参考人として発言しました。



参議院インターネット審議中継より引用

- **国際結婚、ハーグ条約**：2024年6月 国際私法会議（HCCH）に、ハーグ条約「13(b)重大な危険」の判定が正しく行われているかの懸念について公開書簡を送付。10月 HCCH事務局長の来日時懇談の場を持ちました。

2025年2月 同1月にハンガリーで発生した日本人女性殺人事件に関し、[声明](#)を発表しました。

その他

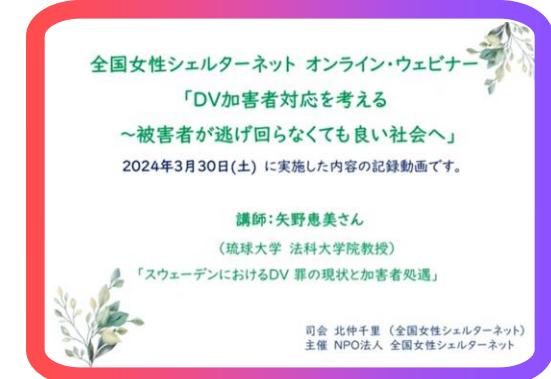
- 国の会議やヒヤリングにて、DV被害者支援の実情や、住民基本台帳の支援措置についての要望を伝えました。
- シエルターシンポジウム「議員フォーラム」にて、DV施策の課題について国会議員と支援者が語り合う場を設けました。

06

社会啓発・発信活動

取材などのメディア対応、執筆、講演や世界に向けての発信など様々な活動をしています。

- 2024年3月 Zoomウェビナー「DV加害者対応を考える～被害者が逃げ回らなくても良い社会へ～」を開催。Youtubeにて公開中。
- メディアの取材協力や出演・執筆：NHK（おはよう日本、あさイチ）、TBS（報道特集）、全国各紙、厚労省広報誌、月刊誌Wedge等。
- 国際会議や日本女性監視機構（JAWW）のリポート英語版、世界のシェルター調査プロジェクト協力など、日本の女性に対する暴力対策の現状を、世界に向けて発信しました。
- アジア・世界のシェルターネットワーク（ANWS/GNWS）の理事会団体としてオンライン会議等に参加。各国の状況調査等に協力しました。
- 全国での講演やシンポジウムなどで、DVや性暴力問題について登壇・発信（計38講演）。
- 2024年10月 シェルターシンポジウム関連企画として、中国から冯媛（Yuan Feng）さんを迎える、日本の支援団体と国会議員との交流の場をもちました。
- 2024年11月 東京での「あるこうよ むらさきロード」パレードに参加。
- 2024年11月 当法人共同代表・現理事、女のスペース・おん理事の近藤恵子が「令和6年北海道功労賞」を受賞。



06

社会啓発・発信活動

SNSではウェビナー動画や「エンパワメント・スクール」案内などを公開しています。
ぜひチャンネル・お気に入り登録を！



TikTokチャンネル [@nwsnet.2001](#)



Youtubeチャンネル [@alljapanwomenshelternetwo2307](#)



Facebook <https://www.facebook.com/WaitNoMore2019>